



2019年春号 Vol.16
発行
障害者支援施設
こひつじの苑舞鶴
<http://www.kyoto-taiyo.or.jp>

新年度を迎えて

—万葉集「梅花の歌」—

初春の令月にして、氣淑(よ)く風和(やわら)ぎ、
梅は鏡前の粉(こ)を披(ひら)き
蘭は珮後(はいご)の香を薰(かをら)す

この歌は730年、歌人、大伴旅人が同僚や友人を招いた宴で「梅に関する和歌」が32首詠まれ、そのときの序文として、この「梅の歌」が寄せられました。「令月」とは何事をするにもよい月、めでたい月、という意味があるそうです。新元号「令和」はこの歌から二文字をとって命名されたとのこと。

5月1日の改元を前に、当施設では施設長が交代となり、新しい年度をあゆみ始めました。2019年度事業目標において、職員の知識・技術の向上や、組織の強化・向上をめざし誰もが働きやすい職場を目指します。また、ご利用者の安全・安心・快適な生活を向上させ、質の高いケアプランを基にご利用者の生活の質の向上に努めてまいります。新年度もかわらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

障害者支援施設こひつじの苑舞鶴
施設長 磯野 ゆかり



定年退職 前施設長 中西 雅子

職員の異動のお知らせ

4月1日付人事異動により下記のとおり職員の交代がありました

転入 副施設長 増茂 祥司 (多機能事業所宮津サンホームより)
生活支援員 矢野 ひろみ (舞鶴市身体障害者福祉センターより)
生活支援員 牧田 久美子 (旧姓 濱田) (障害者支援施設こひつじの苑より)
こひつじの苑舞鶴に戻ってまいりました。よろしくお願いいたします。

転出 生活支援員 時岡 勉 (園部まごころステーションへ)
生活支援員 松井 勇樹 (障害者生活支援センターかもめへ)

在任中に賜りましたご厚情にこころより感謝申し上げます。
新任地でも頑張っております。



舞鶴社会福祉施設連絡協議会

～職員研修に参加してきました(2019年3月15日)

舞鶴市に施設を置く社会福祉事業所によって構成される、舞鶴社会福祉施設連絡協議会では、毎年、利用者交流の行事や職員の親睦を深めるためのスポーツ大会、研修会が行われています。

今年の研修会は、加入施設が取り組んでいる研修について発表し、傾聴するというものでした。

当施設からも、法人全体で取り組んでいる福祉QC活動について、当施設内の「ドラセナ」サークルの活動を紹介してきました。テーマは「利用者さんに安心して入浴をしてもらおう」でした。

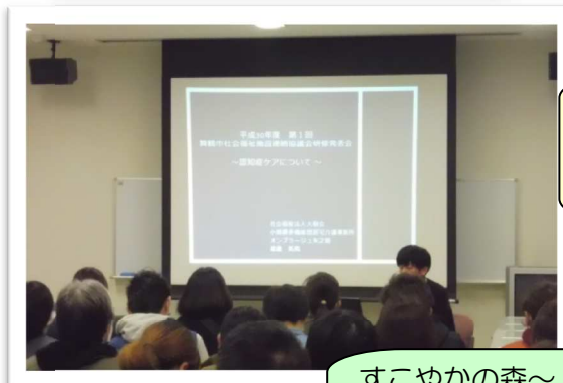
ほかの施設からも、特別養護老人ホームやすらぎ苑より「認知症ケアについて」、介護老人保健施設すこやかなの森より「職員自主勉強会の取り組み」、医療型障害児入所施設舞鶴こども療育センターより「ユニットケアへの移行に伴う子どもの権利擁護推進に向けた多職種協同での実践について」と、多様な施設の発表がされました。

こうした舞鶴社会福祉施設連絡協議会の活動をとおして、私たちは老人福祉、障害者福祉、児童福祉などの様々な福祉について考える大変よい機会を頂いています。

当施設からは、公文支援員が発表
一番手の発表で少し緊張？



しかし、日ごろのQC活動の
成果、発表はなれたものです



やすらぎ苑～
「認知症ケアについて」
なかなか専門的な内容でした

すこやかなの森～
「自主勉強会の
取り組みについて」



勉強会では、腰痛予防の
体操なども紹介され、
会場のみんなでやって
みました



※この季刊誌に掲載している写真はすべてご本人の承諾を頂いて使用しています